

はじめに



多度津町は、映画のロケ地にもなった高見島、近年「ネコの島」として知名度が高まっている佐柳島などの島が浮かぶ瀬戸内海に面し、古くは海上交通の要衝として、そして四国鉄道発祥の地として栄えてきた、伝統ある歴史と文化を今に残す町です。

しかし、不法投棄などのごみ問題やPM2.5に代表される大気汚染といった身近な問題から、地球温暖化や異常気象などの地球規模で取り組む必要のある問題に至るまで、私たちの直面する環境問題はその深刻さを増しています。こうした問題の多くは、私たちの日常生活や通常の事業活動に因るものであることから、環境を保全し、また、より良い環境を創り出して後の世代へと引き継いでいくためには、町民の一人ひとりが目標とする環境像に対するイメージを共有し、取り組んでいくことが重要となります。

このような状況を踏まえ、多度津町では、2019年度から10年間の環境保全に関する基本的な方針を定めた「第2次多度津町環境基本計画」を策定いたしました。目指すべき将来の環境像を「町民の参画と協働でつくる、自然と人が共生する美しく暮らしやすいまち たどつ」とし、多度津町の誇る山、川、海、そして島々などの恵まれた自然環境や歴史的・文化的遺産の保全のほか、誰もが安心・安全に暮らすことのできる快適空間の確保、将来に渡って持続可能な循環型社会の形成、そして伝統文化の継承や環境学習による地域や職場における学びと活動の輪など、取り組むべき課題を明確にし、行政はもとより、町民、事業者の皆様と協働して環境づくりを進めてまいります。

今後はこの計画に沿って、環境施策の推進に取り組んでまいりますので、町民、事業者の皆様におかれましてもそれぞれの立場で環境への意識を高め、積極的な参画、行動をお願い申し上げます。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、多度津町環境審議会、町民の皆様から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに対し、心よりお礼を申し上げます。

2019年6月

多度津町長 丸尾 幸雄

